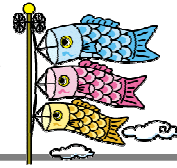


法務ページ・かわら版

平成 23 年(2011 年) 5 月 1 日号 VOL.37
【江戸時代の鯉のぼりは黒一色だけ。東京オリンピックをきっかけに現在のカラフルな鯉のぼりが登場した】



平成 23 年
第 37 号

こんにちは。ゴールデンウィークは、少し遠出をしようかと思っていたのですが、高速道路が渋滞していたので、家族で映画を見に行った社会保険労務士・行政書士の妹尾悟です。



《原作が優れていると、深読みしてしまう!》

結末は、わかっていましたが(最後は、ちょっと強引にまとめるところも…)「カリバー旅行記」を子供たちと見ました。この映画のキャッチコピーは、「そこは本当の“大きさ”を教えてくれる国」です。「カリバー旅行記」といえば、誰もが知る有名なお話しですが、この映画は、物語を現代に置き換え、口先だけで行動が伴わない主人公が小人国での体験をもとに、自分の運命を切り開くお話しです。

普通の映像で見たかったのですが、席が空いてなく、仕方なく3Dで映画を見ました。3D映画は2回目でしたが、メガネをかけてみるのが苦痛でなりません(苦)

下の子は、大音量と飛び出す映像(3D)に最後は怖いと泣いてしまいました。

上の子は、「面白かった」と満足そうでしたが。



話し自体はわかりやすく、単純ですが、つい深読みしてしまいました。きっと原作の「カリバー旅行記」が優れているから、どのような物語にも置き換えることができるのでしょうか。

子供たちと見るには申し分なく、とても面白い映画でした。

平成 23 年 5 月 妹尾 悟



電話によるお問い合わせは 0866-63-3213 まで

受付時間●毎日、午前 9 時～午後 6 時 FAX050-1188-2050 (FAXは 24 時間受付)

●人生100年ノート(エンディングノート)には、「自分史」を書く欄があります。自分史を書くことは、そのまま「生きた証」を残すことでもあります。大ヒット本「死ぬときに後悔すること25」を参照に、「自分史」を書く意味を考えました。

□緩和医療医の先生が書いた本

「健康を大切にできなかったこと
たばこを止めなかったこと
生前の意思を示さなかったこと
治療の意味を見失ってしまったこと
自分のやりたいことをやらなかったこと
夢をかなえられないこと
悪事に手を染めたこと
感情に振り回された一生を過ごしたこと
他人に優しくできなかったこと
自分が一番と信じて疑わなかったこと
遺産をどうするか決めなかったこと
自分の葬儀を考えなかったこと
故郷に帰らなかったこと
美味しいものを食べておかなかったこと
仕事ばかりで趣味に時間を割かなかったこと…」

上記は、緩和医療医として多くの終末期患者を診てこられた大津秀一先生が書かれ、大ヒットした「死ぬときに後悔すること25」(致知出版)の一部です。

この中に、「自分が生きた証を残さなかったこと」という編があります。

□「生きた証」として何を残すか

「あなたは自分が生きた証として、何を残したいだろうか？」大津先生が実際に体験されたことで、ある患者さんが病院のスタッフに宛て、一冊のアルバムを残しました。「そこには一人一人へのメッセージが丁寧に綴られていた」そうです。

そして、大津先生は「私は苦しいとき、よくそのアルバムに触れてみた。ざらっとした表紙の手触りが、なぜか温かく、私は元気をもらっている。それもまた、彼女がアルバムを通して、私に彼女の一部分を残していったからなのだと思う。」(本文 P187 より)と「肉筆」で手紙を書くことの意味を記しています。

□人生 100 年ノートと「生きた証」

人生100年ノート(エンディングノート)には、自分史を書く欄があります。自分史を書くことは、そのまま「生きた証」を残すことでもあります。

私は遺言や相続の仕事を通じて、いろいろな方の人生をお聞きしてきました。長い人生の中で、迷い悩みながら、精いっぱい生きてこられたお話しをお聞きすると、ときに勇気づけられることがあります。

高齢になってからも夢を持ち続ける大切さを教えてくださった方もいます、自由奔放に生きることを選んだ方もおられます。

「誰かの人生はその人に固有のものであり、他者がそこから学びや気づき、そして癒しや勇気をもらうことも稀ではない。自らの後悔が減るばかりか、他人の人生の苦しみも減らしてしまうかもしれない。生きた証を残すことは、かように良きものなのである。」(本文 P190 より)

「自分が生きた証を残さなかったこと」、この編の最後はそう締めくくられています。



★事務所通信に感想をいただきました！
有難うございました。(〇〇)／

(以下、いただいた感想の本文です↓)
組織力向上委員会「マニュアルは誰のためにあるのか？」の記事で。

→ 仕事ができる人の行動には、目に見える部分(行動)だけでなく、その裏側にある目に見えない部分(考え方、行動指針等)が隠れていますので、この部分を見落とさない様にしなければなりません。

ついついツールに目がゆきますが、ツールを手に入れたとしても思い通りにはゆきません。ほんとその通りです。ああ… 胸が痛いです(笑汗)

●ホームページは「せのお事務所」で検索してください。すぐに見つかります。

ホームページ <http://www.senojimu.net/>